

志木市議会議員 無所属

天田いづみの議会だより

市議会・まちづくり情報



〒353-0006 志木市館1-1-2-108

Tel/Fax:048-471-1338

E-mail: amada@ff.e-mansion.com

天田いづみのホームページ <http://www.ff.e-mansion.com/~amada/>

第26号 2005年2月

志木駅・柳瀬川駅にエレベーター設置を

柳瀬川駅へのエスカレーター設置(1999年)に車椅子の市民とともに取り組み、視覚・聴覚等多様な障がい者、ボランティア、工事・駅関係者、行政が一同に会した設置前の現場点検会を経て、誰もが利用し易いユニバーサルデザインの観点を反映できたのは、大きな成果であったと考えます。

しかしながら、当時から「足が不自由な人にとっては下りの方が必要」とのご意見はいただいております。エレベーターが設置できないかも検討したのですが、柳瀬川駅はホームの幅が狭いため、構造上不可能とのことで、やむなく上りみみのエスカレーターとなったのです。

近年は、高齢者やベビーカー利用の若いお母様方からのエレベーターへのご要望が多く、ここで改めて調べたところ、東武鉄道側から、費用をかければエレベーター設置も可能との案が市に示されていることがわかりました。

一方、志木駅もホームに上りエスカレーター、駅前再開発時に東口ペDESTリアンデッキにはエレベーター(2000年)が設置されていますが、ホームへのエレベーター設置が必要です。

柳瀬川駅エスカレーター設置時は、総事業費

1億8,000万円、市負担金3,000万円の1/2を県補助金でまかなうことができました。現在は交通バリアフリー法に基き、総事業費に対し事業者、国、市それぞれ1/3(市負担に対し県補助金1/2)の負担となり、志木駅については新座市との折半となります。

厳しい財政状況ではありますが、加速する少子高齢化を踏まえ、第4次総合振興計画(2005年～)に位置付け、計画的な整備を求めました。

市長答弁では「志木駅については新座市とも連携を図りながら検討している。計画への位置付けはもとより、エレベーター設置の実現に向けて取り組んでいきたい。」とのことでした。(12月議会一般質問)



新河岸川治水対策の浚渫工事(05. 2. 3)

2004年9月議会 一般質問より



1. 職員による不正流用問題について

(1) 処分の適切性

「3団体の銀行口座から不正に現金を引き出し、私的に流用。」の行為に対し、「停職6ヶ月」の処分で退職金が支給されたことに、市民は納得していない。

1. 懲戒委員会への市民・民間の意見の反映 2. 退職金の一定の減額措置を退職手当組合に要望に加え、 3. 「志木市職員の懲戒処分の指針」を改正し、「公金または公金に準ずるものを横領した職員は免職」とすべき。

【市長】適切な処分であったと確信しているが、懲戒処分の指針等について改善する必要性を痛感している。

(2) 任意団体の事務執行

従来から、市が事務局となっている任意団体の事務については、できる限り外部化することによって、団体の本来担うべき機能と、市が団体の公益性の観点から支援・協力を行うべき機能を明確にすべきと主張してきたが、抜本的見直しが行われず不祥事に至ったことは残念。

外部団体の会計規模、補助金の額、職員の支援に要する人手、時間等を検証し、市の業務との区分の明確化の観点、また、事業の目的・事業内容が今のままでよいのか、まちづくり・まちおこしの観点でより効果的な手法が取れないのかも抜本的に検討すべき。

【市長】協力団体の会計事務に関する指針を制定し、内部監査体制を強化した。行政とのかかわりの中できちんと整理をしていくことも大事だろうと思っている。

【天田】不祥事後、市から要請し、団体による会計事務が可能となった件数は？ 団体の規約に定めずに市が会計事務を行っているところがあり、規定を設けるべき。

【企画部長】40団体余りのうち4団体に会計事務をお返しする。規約の改正は進めていきたい。

2. 市民協働業務について

(1) 行政パートナー委託業務

研修期間1か月ではあまりに短い。特に公民館は1年間研修期間と位置付けたい。就業規則で3か月までは試用期間とされても、3か月ではわからないという現場からの意見もある。

【市長】今年度については、事前研修期間の延長、事業の実地体験期間を設ける。市民活動支援課・業務担当課・行政パートナーそれぞれの研修システムを構築していく。

【天田】05年度業務について、市民協働業務評価委員会、市民委員会からは「職員の責任を残しながらの段階的な移行」「経費節減効果よりロスが出てくるのではないか」といった危惧や慎重な意見が出されている。

十分な事前研修の結果、執行できる目途が立たなければ軽々に予算化すべきでない。

【市長】ケースバイケースで柔軟性を持って対応していきたい。

(2) 市民協働における職員のあり方

特に公民館は地域の拠点であり、館長を中心に職員がコミュニケーション能力、マネジメント力、調整力を発揮し、行政パートナー・利用団体・利用者それぞれの関わりの中で信頼関係を築いていくことが重要。市民協働にかかわる職員の資質は今まで以上に重要との認識を持ち、職員研修・人事に反映すべき。

【市長】 職員の果たすべき役割について浸透していない点もあるので、研修、職務マニュアルの作成、市民力を発揮させるマネジメントや調整力を発揮してもらうことが重要、職員配置についてもその点に配慮していきたい。

(3) 公民館の機能

公民館は単なる自主事業にとどまらず、地域の学習拠点として学校・社会教育関係団体・NPO等との協働による多様な学習機会の提供、インターネット等による学習情報の提供、家庭教育への支援、奉仕・体験活動の推進、ボランティア養成研修会、事業の自己評価等が求められている。(03. 6. 6 公民館の設置及び運営に関する基準改正)

【市長】 施設の貸し出しは従の機能、主たる機能は市民が公民館を活用して自主事業を行い、コミュニティ醸成のための発信基地と認識している。

【天田】 まちづくりの拠点としての公民館のあり方を議論しないまま、行政パートナーへの委託に移行した。茅野市では公民館、自治会単位の地区公民館で学習しながら地域ぐるみで福祉のまちづくりを進めてきた。

05年度の職員配置は？行政パートナーに対し「社会教育とは何か」研修すべき。

【市長】 行政パートナーについては教育委員会も入って協議してきた。私から云々言うわけにはいかない。

【教育長】 05年度は現状の職員配置を考えている。行政パートナーに対する社会教育についての研修は希薄であった。今後十分に行っていききたい。



3. 福祉社会の構築について

(1) 福祉におけるマネジメント機能

介護保険の認定率が低い(04.4.1 市 8.84%、県 11.76%)のはなぜか。地域毎の実態を把握し地域福祉計画に反映すべき。

普通徴収の収納率が落ちており、「元気だから介護は受けない」という方に対し、介護予防のための事業を組み込んでいく必要がある。(国の介護保険制度改革にも反映された。)

今後は市町村が生活圈域ごとの整備計画をつくり、地域介護福祉空間整備交付金を活用した小規模多機能生活拠点・介護予防事業等の展開が求められる。

【市長】 地域ケア会議で総合調整し、保健・医療・福祉の各サービスへ誘導するとともに、介護保険の運営状況や高齢者の実態調査結果について分析し、介護予防対策を推進していく。

【天田】 生活保護の給付が非常に伸びており、03年度 294 世帯をケースワーカー3人で担当しており、社会福祉法の基準(80世帯に1人)を超えている。増員し、自立に向けきめ細やかなサポートを。

障害者福祉についても支援費制度になり、ケースワーカー1人当たり約 540 人をかかえ、1人ひとりに応じたケースマネジメントが十分でない。精神障がいについては精神保健福祉士・臨床心理士のサポートも必要ではないか。

【市長】 全庁的に職員配置の再調査を行い、早急に対応したい。精神保健福祉士など専門職員の活用も視野に入れた職員体制の整備が必要と考えている。

【天田】 保健・医療・福祉・医療保険の実態を総合的に捉えて志木市の特性を分析し、各医療機関とも連携して予防医療等を推進していくためのマネジメント機能を。

【市長】 早速検討に入りたい。



(2) 食の自立

自分でつくることが栄養的にもバランスが取れて、個々の健康・身体機能に応じた内容であればよいが、自分でつくるといっても例えばカップめんばかり食べているといった食生活でよいのか。栄養士がその質も見極めながら、ホームヘルパー・食生活改善推進員・おんどりクラブ等の協力により、個々に応じて食事をつくっていかれるようなサポート体制を組んでいくべき。

【健康福祉部長】 今後、介護保険の中に組み込んでいくかについても検討していきたい。(06年度から新予防給付のメニューとなる見込み)



4. 一般廃棄物処理基本計画の推進について

廃棄物の適正処理

職員手作りの当計画では、事業所ごみが家庭ごみの集積所に出されている実態調査を行った結果を踏まえ、事業系ごみについて「処理委託や志木地区衛生組合に直接搬入(有料)するなど適正処理を推進し、小規模排出事業者対策として、有料袋(未定)を購入してもらい、集積所に出せる方法も検討する」とされている。

事業系は総排出量の30%、家庭系は100%が志木地区衛生組合の負担金(03年度 約4億9000万円)に反映される。事業系ごみが集積所に出され、家庭系として収集されることにより負担金を押し上げている。

商工会を通じ、また、事業所への立ち入り検査も含めて働きかけを。

【市長】 市内法人事業所1579社中、適正処理は2割のみであり、今後は職員による戸別訪問なども検討している。

5. 通学区自由化について

中学校における「理由を問わない指定校変更」(9月30日まで)の運用状況は？ 保護者からは「年度当初からの自由化をしてほしい」、学校現場からも「来年度どうなるのか」といった意見が寄せられている。検証し、速やかに市民に情報公開、説明責任を果たすべき。合同部活動についての検討も行っていくべき。

【教育長】 指定校からこの制度で転校した生徒は1けた台であり、不適応を来たしやむなく転校する深刻な状況は報告されていない。検証の上、05年度は現行の制度を継続していく。部活動のあり方についてはワーキンググループを立ち上げ考えていきたい。

【天田】 小中学校の接続について、小学校では学校評価・保護者とのミーティング等盛んだが、同学区の中中学校ではやっておらず、連携が取れていないところもあると聞く。

地域立学校として、先ず管理職が連帯し、できれば学校経営協議会を合同でやるとか、学区として子供たちの教育をどう地域で保障していくか、踏み込んでやってほしい。



6. 教育課題の検証について

小学校6校、中学校3校を訪問し、把握した現場の実態を踏まえての質問

(1) 指導主事による学校支援機能

リカレントスクール、逆上がり教室など素晴らしい取り組みではあるが、指導主事が多忙を極め、本来の学校・教職員に対する教科指導のサポートが充分でない。志木二小では全教職員による夏休み逆上がり、パソコン、リコーダー教室に児童300人が参加した。逆上がり教室などは学校主体で行い、青少年問題もまちぐるみの取り組みとして市長部局に事務分掌を移すなど、指導主事が本来の学校支援機能を果たせるようにすべきではないか。

【教育長】 組織や分掌の見直しも視野に入れて今後検討が必要。

(2) 特別支援教育

特殊学級の専門性を高め、保護者の思いや願いを入れた個別指導計画、単に一緒に過ごすだけでなく障がいへの正しい理解につながる交流教育、人事を超える研修を。

特殊教育について、埼玉県は東京都のように専門枠での教員採用でなく、一般教員の中でまわしているのが実態。早急な改善の申し入れを。

軽度発達障がいについては、個別のケースに応じた校内研修を。支援員に対する専門研修も再三要請してきたが行われていない。支援員も含めたチームによるサポートを。

【教育長】 学校での研修、支援員等の研修を充実させたい。採用に関しては、県教育委員会に強力をお願いしていく。

【天田】 幼小接続が重要、福祉部との連携も図ってほしい。



(3) 情報教育

03年度、志木二中・宗岡二中に導入された数学のCAIソフトは一斉授業に使うものではなく、復習で個々のつまづきに応じて問題が出てくるもの。本年、宗岡二中では夏期講習で1人1時間ずつの補習に活用、志木二中では1学期に一斉授業で導入し、うまくいかなかった。

教員のパソコン習得率は小学校60%、中学校40%であり、学校毎の生徒の実態に応じて真に必要なものを見極め、学校主体で整備・活用されるべき。「市民委員会からの指摘を受けて使った」ということがあってはならない。

予算については魅力化に盛り込む、学校経営協議会の中に情報システム検討委員会を設けるなど、保護者や地域の専門家の協力を得て、ハード・ソフト共に効果的な整備を。

【教育長】 各学校毎のカリキュラムと連動した、選択肢のある整備が必要。地域立学校経営協議会にはワーキンググループをつくることのできるので、専門性ある取り組みを奨励していきたい。

(4) 国際理解教育

日本語が習得できていない児童・生徒へのサポートにつき、宗岡三小では当初は校長自ら個別支援プログラムをつくり、教育サービスセンターから毎日支援ボランティアを派遣してもらい、スムーズに適應できていた。児童・生徒の生活サポートにまできめ細やかに対応できるよう、市民団体とも協力して対応を。

【教育長】 ボランティアは日本語指導にとどまらず、担任とのパイプ役、保護者への生活面のアドバイザーに

なったりと、活動は多岐にわたっている。今後は外国人である保護者への通訳、教科書の翻訳など、その活動を広げるべく準備を進めていきたい。



(5) 学校図書館について

学校図書については基準額という考え方だけでなく、小規模校にも対応した整備を求めてきた。その過程において、教育委員会による図書相談員の研修が近年全く行われていないことに驚いた。教員の学校図書館教育活動委員会とも連動した研修を。

司書教諭の授業時間を削減して司書業務に充てられているのか。

【教育長】 計14名の司書教諭を配置、週平均2時間程度少なくして図書館での職務に当てている。図書相談員の研修会は今後2回企画している。読書環境整備、読書力向上の両面から実態を把握・分析し、有効な活動ができるよう、05年度をめざして充実策を検討していきたい。

● 天田いづみの活動日誌(主なもの)

9月1～28日 議会定例会

9月5日 志木市聴覚障害者の会との懇談会

10日 柳瀬川図書館での絵画展示、カナリヤ工房 志木ニュータウンでの街頭販売を視察

13日 教頭会傍聴「不登校の理解と援助」南部教育事務所スクールカウンセラー 浜野聡さん

18日 地域福祉計画のための第2回 柏町地区懇談会(ワークショップ)

柏町地域の高齢者と地域の支え合いについて(在宅介護支援センター柏の杜 社協 福本相談員)

19日 商工まつり

20日 敬老会

23日 宗岡第二公民館 行政パートナー委託業務について(吉野館長)

なぎの会～第一回邦楽鑑賞会～(ふれあいプラザにて)

25日 地域福祉計画のための第1回 幸町・館地区懇談会(ワークショップ)

講演「埼玉県における高次脳機能障害者の就労支援の状況について」県障害者職業センター主任障害者職業カウンセラー 岩佐純/シンポジウム「現状を見つめて、今後の自立支援とは」県総合リハビリセンター地域技術支援担当 本山悦子、大崎むつみの里障害者福祉センター主任 菅原龍弥、障害者地域支援センター「ともいき」コーディネーター島田昌美さん他(脳外傷友の会「さいたま」)

30日 第3回 志木精神障害者を支える会運営委員会

10月3日 第2回ふれあいファイブ・スリー「生ゴミの減量を考える！」(中参ゴミ問題専門委員会)

NPOボランティア支援育成事業2004「つないでひろげよう、環境まちづくり よみがえれアサザ咲く水辺、“霞ヶ浦からの挑戦”に学ぶ」NPO法人アサザ基金 代表理事 飯島博さん他

5日 県「引きこもり社会体験事業」登録事業所 金塚竜さん(小川町で有機農業、志木四小1回生)と懇談

青少年育成関係者による緊急会議・・・学校における器物損壊(6～9月に15件発生)への対策について検討



- 8日 志木地区衛生組合議会
- ・ 職員の研修派遣について
 - ・ 一般廃棄物処理基本計画の推進について
- 9日 天田いづみのティータイム
- 12日 市民病院でのがん個別検診【要精検】患者受診時「X線フィルムを見せての説明」院内徹底を要請(古堅医務部長)
- 16日 志木ニュータウン1階ベランダ侵入盗に対する啓発強化を柳瀬川駅前交番に要請
- 17日 環境デー クリーン作戦“台風後の柳瀬川には上流からのごみ！！”
サミット出入口を狭めない自転車整理を要請、駅前駐輪対策について意見を伺う(サミット佐藤店長、(株)東武警備警備員)
- 22日 精神保健福祉、職場・学校・地域のネットワークについて(朝霞保健所 斎藤主任)
和光イトーヨーカ堂 自転車・バイク駐車システム視察
- 23日 柳瀬川無料駐輪場、志木大橋周辺河川と堤防、館近隣公園視察
- 24日 「彩の国まごころ国体」レスリング競技少年男子開始式／公開演技「宗岡中学校・狐童」
- 26日 志木フォークダンス同好会の活動を見学(宗岡四小多目的ルームにて)
- 28日 市民病院の今後の方向性について市民と意見交換(中村管理課長)
柏町3丁目遺跡発掘調査現場を見学(生涯学習課 尾形主任)
- 29日 市民病院の現況と来年度の体制について(中村管理課長)
三ッ木保育園、畑での園児の農作業を見学(内田看護師)
- 30日 市政功労者表彰式典
第2回いろはふれあい祭(いろは遊学館利用者の会、志木小学校、志木小学校PTA、いろは遊学館、いろは遊学図書館)
- 31日 環境問題とカーシェアリングを考える集い・・・講演 環境ジャーナリスト 枝廣淳子さん、志木ニュータウンで実施中の手づくりカーシェアリング紹介(NPO法人「志木の輪」)
- 11月1日 校長会傍聴「中学校通学区1学区制の第1段階について」
市民病院の来年度医師確保等について助役に要請
中学校における特別支援教育のサポート体制、中学校区毎の小中接続教育について(宗岡中 坂本校長)
- 2日 学校主体、地域ぐるみの教育のバックアップ体制について(宗岡四小 黒沢校長)
訪問看護ステーション休日のサービス体制、市民病院医療の在宅支援体制について(訪問看護ステーション 春日所長)
- 5日 市民病院患者アンケート結果から見る実態と具体的改善策について(藤田主査)
- 8日 特別支援教育、教育サービスセンター基盤整備について要請(教育委員会 金山理事)
- 12日 夫が狭心症のため、市民病院から救急車に同乗し自治医科大学大宮医療センターCCU(冠動脈疾患集中治療室)にて心臓カテーテル・ステントによる処置、「良質の医療ネットワーク」の重要性を体験 !!
- 14日 「里親—もうひとつのふれあいのかたち」坂本洋子さん 『ぶどうの木』著者(志木地区里親会・志木市)
- 15日 自治医科大学大宮医療センター総務課篠崎係長に、市民病院への医師派遣継続につき協



力要請

- 16日 朝霞地区4市消防団連合点検
- 17日 朝霞地区議長会議員研修会「防犯とまちづくり」東京大学工学部教授 小出治さん
住民自治基金条例について、助役より会派説明の申し出に対し資料配布のみを要請
- 18日 「精神障害者福祉施策の拡充に関する要望書」に関わる市と志木精神障害者を支える会・
志木市精神障害者家族会さくら草 懇談会
第4回志木精神障害者を支える会運営委員会
- 19日 志木二中ふれあい進路講演会／川合登美子さん
☆ 小学校6年の秋、一晩明けたら、耳が遠くなっていた。自分でも信じられない障害を持った。(中途難聴者になってしまった)
☆ 何度も挫折しそうになったけれど、現在は不自由なりに、生きていることは素晴らしいと思えるようになりました。
☆ 同じ障害で苦しんでいる仲間達の掘り起こしをして、ひきこもりを無くしたいという思いがあります。
- 20日 バスで訪ねるゴミ処理施設／富士見環境センター、リサイクルプラザ「利彩館」(中参ゴミ問題専門委員会)
- 21日 産業祭・消費生活展
- 22日 西原特定土地区画整理組合「7.5m道路 12月1日より牛坂の迂回路として開通」に対し図面入りお知らせ文書を要請、その後志木ニュータウン町内会連合会長から組合に要請し、全街区に掲示される
- 24日 都市計画道路中央通停車場線(本町通り)の道路計画説明会(朝霞県土整備事務所)
- 25日 西原特定土地区画整理事業、「牛坂道路計画と工事中の迂回路について」志木二小・二中への説明を組合に要請
- 29日 少人数学級等に伴う新規採用、臨時任用教諭増の影響について(志木小 大滝校長)
- 30日 議会開会日「住民自治基金条例の上程を市長が撤回」

12月議会で「収入役事務兼掌条例には反対、ただちに採決すべき」との討論を行い、継続審査に反対したのは天田いづみ一人でした。

収入役とは、会計事務の執行に独立の権限を持つ機関(助役、市長は代理し得ない)です。廃止されれば、市長が助役にその事務を兼掌させ、助役が欠けた時は市長が兼掌することになります。

市長に権限を集中させるのではなく、会計機関の独立性は確保されるべきと考えます。

2月24日議会開会日に同条例に対する討論、採決が行われます。

市政へのご意見、ご提言をお待ちしています。

**** これまでの活動とその成果は！！****
天田いづみのホームページでご覧下さい
<http://www.ff.e-mansion.com/~amada/>
《天田いづみ》で検索して下さい



ティータイム

3月26日(土)

午後2:00~4:00

柳瀬川図書館2階和室

最近志木の中で身近に感じていること、思っていることなどを気軽にお話しませんか？

緑といづみのふれあいネットワーク

(連絡先 天田 471-1338)